

令和3年度実施地方創生関係交付金事業等 検証結果

No.	事業名	事業目的及び概要	事業実施状況	担当課における評価		検証委員からの評価	
				所見	評価	所見	評価
1	うだつの町並み古民家改修による観光経済活性化事業 ＜拠点整備交付金＞	うだつの町並みにおける滞在時間の隙間を埋めるため、また、新しいものが生まれる「インキュベーションスペース」を整備するため、町並み内の古民家を改修し、観光誘客と地域経済の活性化を図る。具体的には、「脇町突抜町住宅」を、朝食がとれる店及びチャレンジショップとして整備するほか、本施設の2階をギャラリー兼コミュニティスペースとして整備・貸出しすることで、地元との交流を促進する。	令和3年度は、施設整備における実施設計を実施し、美馬市景観審議会、文化庁等関係機関との協議を行った。 【KPI】 ・うだつの町並み観光入込客数 目標値：120,000人 実績値：56,354人 ・「脇町突抜町住宅」での年間売上額、周辺宿泊施設等との連携件数、チャレンジショップ利用件数は、目標値及び実績値共に「0」であった。	令和3年度は実施設計のみで、令和4年度に改修工事を実施するため、現時点では事業効果を確認できない。	⑤	・令和3年度は実施設計のみであるため、事業効果を検証することは難しい。 ・現状を踏まえた新たな事業展開であるため、着実に取り組んでいただきたい。 ・事業の実施によるうだつの町並みエリア全体への波及効果や、周辺の既存店舗・施設との連携等、今後の継続的な展開に期待したい。 ・今後も、うだつの町並みを活かした賑わいを生み出す仕掛けづくりについて、様々な角度から工夫し、取り組まれることを期待している。 ・KPIの1つである観光入込客数については、本事業が直接影響を与えたかが判断しにくいいため、担当課としての行動が直結するKPIを設定するのも良いのではないか。 ・観光活性化については、団体客の取込への対応も大切である。	⑤

○ 評価における選択肢

- ① 本事業は地方創生に非常に効果的であった(指標が目標値を上回ったなど)
- ② 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7～8割)達成したなど)
- ③ 本事業は地方創生に効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなど)
- ④ 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
- ⑤ 事業効果を確認できない

No.	事業名	事業目的及び概要	事業実施状況	担当課における評価		検証委員からの評価	
				所見	評価	所見	評価
2	観光プロモーションプロジェクト推進事業 ＜企業版ふるさと納税＞	企業版ふるさと納税等を活用し、美馬市にドラマやCM等のロケを誘致して撮影・滞在支援等を行い、ドラマ作品等の映像を通じて、本市の魅力や認知度の向上を図る。 また、ロケツーリズムやコラボ商品等を開発し、観光地としての高付加価値化を実現して、新たな誘客による地域の「儲かる観光」を推進する。	令和3年度は、本プロジェクトによる美馬市のPRを行うため、市内外の企業を訪問した。その結果、18社の企業から企業版ふるさと納税及びまちづくり事業指定寄附金、合わせて5,105万円の寄附をいただいた。 令和3年度に寄附いただいた財源は翌年度に繰越し、ドラマ制作費用にあてる。 【KPI】 うだつの町並み観光入込客数 目標値：120,000人 実績値：56,354人	実際にドラマの撮影を行うのが令和4年度で、放映・配信されるのが令和5年度の予定であるため、現時点では事業効果を確認できない。	⑤	・ドラマ化される原作が決まっているとのことであるため、今年秋の撮影、来年度の配信及び放映というスケジュールの進行を見守りたい。 ・CMやドラマだけでなく幅広い媒体でPRを行い、美馬市の魅力を全国に発信してほしい。 ・ドラマ放送に合わせた旅行商品やコラボ商品の発売のタイミングを逃さないように注意してほしい。 ・ドラマ放映により観光客の増加が想定されるが、それを一過性のものとしなないための更なる仕組みづくりが肝要である。 ・KPIについては再検討の必要がある。例えば、ロケやCMの誘致数、更に、それらによる認知度が測定できれば良いと思う。 ・「行きたい美馬市」、「買いたい美馬市」、「住みたい美馬市」を支えるコンテンツの一つとして、ロケツーリズムの継続と発展に期待したい。	⑤

○ 評価における選択肢

- ① 本事業は地方創生に非常に効果的であった(指標が目標値を上回ったなど)
- ② 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7~8割)達成したなど)
- ③ 本事業は地方創生に効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなど)
- ④ 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
- ⑤ 事業効果を確認できない

No.	事業名	事業目的及び概要	事業実施状況	担当課における評価		検証委員からの評価	
				所見	評価	所見	評価
3	美馬市×大塚製薬×徳島ヴォルティス連携健康づくりプロジェクト ＜推進交付金＞	美馬市、大塚製薬株式会社及び徳島ヴォルティス株式会社の三者で締結した覚書に基づき、令和元年度から令和5年度までの間、姿勢の悪さや慢性的な痛みを感じる20歳以上の市民延べ1,800人を対象として、運動プログラム、栄養補給及びICT活用による活動量の「見える化」を行うことにより、運動機能の改善を通じた運動習慣の定着化を図り、将来的な医療費及び介護給付費の抑制を図る。	申込者数276人（第1クール74人、第2クール72人、第3クール63人、第4クール67人） 参加者数259人（第1クール70人、第2クール67人、第3クール60人、第4クール62人） 【KPIの達成状況】 ①運動習慣のない参加者（86人）⇒運動習慣の改善者（59人）改善率68.6% ②基本チェックリスト3項目該当者（9人）⇒基本チェックリスト3項目該当者（1人）改善率88.9%	KPIについては目標値をクリアしているとともに、コロナ禍においても感染予防等に配慮し参加者の獲得につながっており、健康二次被害防止にも役立っている。	①	・いずれのKPIも目標を上回っており、参加者の評価や満足度も高い。全国的にも評価されている事業である。 ・参加人数や継続性において大きな成果が得られている。また、プログラム修了者向けの「ヴォルティスコンディショニングクラブ」の実施等、工夫が見られる。 ・「ヴォルティスコンディショニングクラブ」が、新しいコミュニティとして地域に根差すことはとても有意義である。 ・フレイルの防止など、市民の体力向上や生きがいきりとしても期待できる。 ・最終目標として医療費や介護給付費削減を掲げていることから、これらのデータとの関連性についても、今後検討されたい。 ・対象者の誘い込み、また裾野を広げることが課題であると思われるため、より多くの方に関心を持っていただくためのきっかけづくりについて、今一度検討する必要がある。例えば、様々な会合等の場を借り、お試し体験的なPR活動を実施してはどうか。	①

○ 評価における選択肢

- ① 本事業は地方創生に非常に効果的であった(指標が目標値を上回ったなど)
- ② 本事業は地方創生に相当程度効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7～8割)達成したなど)
- ③ 本事業は地方創生に効果があった(目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなど)
- ④ 本事業は地方創生に対して効果がなかった(実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなど)
- ⑤ 事業効果を確認できない